

## 直視しなければならない時代認識

- **日本の経済的地位が低下**  
～国民 1 人当たり GDP は長期に渡り低落し、近年は主要国中最下位～
- **人口減少が急激に進行**  
～特に生産年齢人口が大幅に減少～
- **国際情勢**  
～米国による関税措置など不確実性・厳しさが増加～
- **物価高・気候変動・デジタル技術の飛躍的な進化 etc**

⇒ 私たちは大きな時代の転換点に直面している

## 茨城県庁の 3 つの姿勢

**挑戦 ・ スピード感 ・ 選択と集中**

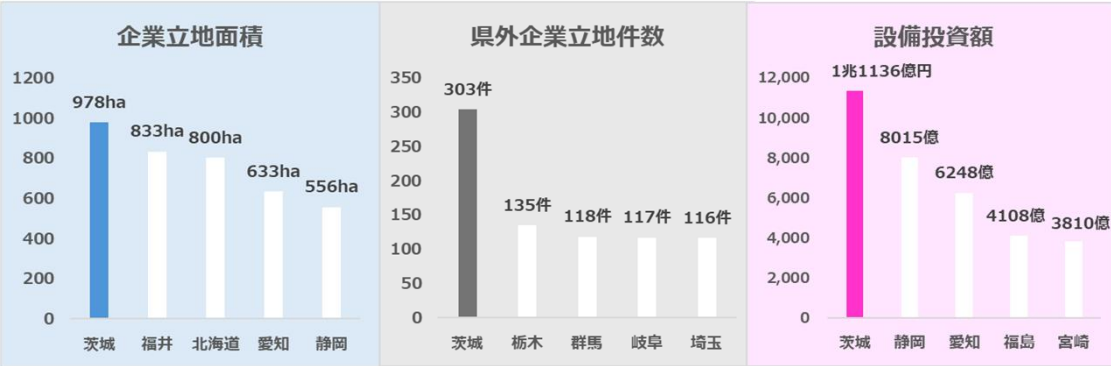
**PDCA サイクルの徹底**

# 成し遂げた多くの成果

## ● 企業誘致の進展

～主要3指標で全国トップクラス、  
県外企業立地件数は8年連続で全国第1位～

知事就任以降8年（2017-2024）累計（上位5都道府県）

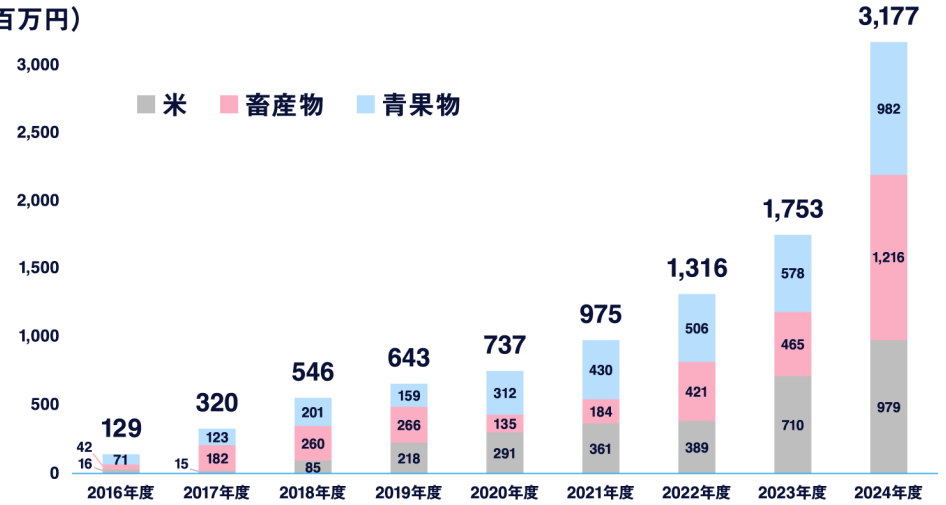


出典：「工場立地動向調査」（経済産業省）

## ● 輸出の拡大

～農産物輸出額が知事就任前の約24倍に拡大～

（百万円）



## ● 可処分所得が全国第1位

～2019年の可処分所得（勤労者世帯）  
が全国第1位に～

可処分所得（勤労者世帯）

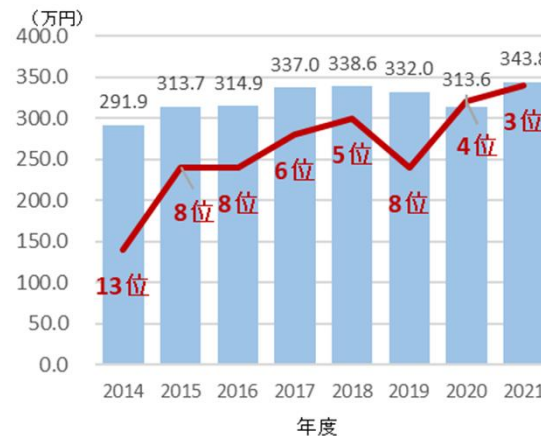
2014年			2019年		
順位	都道府県	可処分所得 (円/月)	順位	都道府県	可処分所得 (円/月)
1	富山県	427,173	1	茨城県	404,355
2	福井県	417,083	2	福井県	398,413
3	東京都	389,916	3	富山県	398,169
4	茨城県	387,682	4	千葉県	394,981
5	岐阜県	379,217	5	神奈川県	394,329
6	栃木県	377,772	6	埼玉県	392,428
7	愛知県	377,531	7	岐阜県	390,835
8	奈良県	375,497	8	秋田県	390,656
9	千葉県	373,973	9	香川県	390,032
10	埼玉県	370,594	10	岩手県	389,320
			17	東京都	380,230

出典：「全国家計構造調査」（総務省）

## ● 1人当たり県民所得の拡大

～1人当たり県民所得は  
東京都、愛知県に次ぐ  
過去最高の全国第3位に～

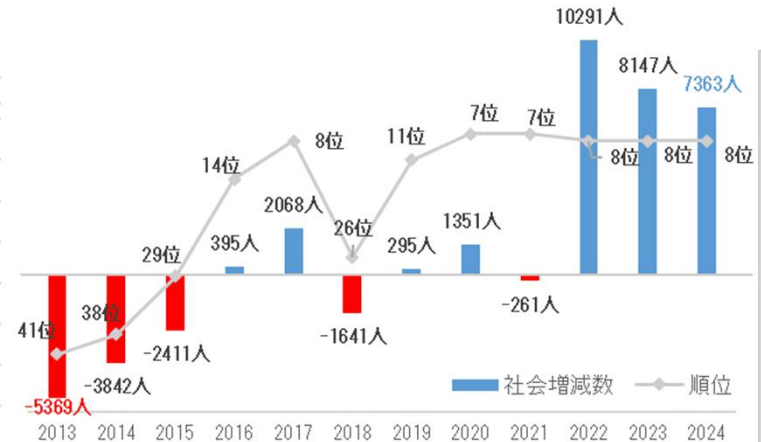
1人あたり県民所得



出典：「県民経済計算」（内閣府）

## ● 人口の社会増

～本県の外国人住民を含めた人口総計は  
転入者が転出者を上回る社会増～



1位	東京都	1.03%
2位	千葉県	0.65%
3位	大阪府	0.58%
4位	埼玉県	0.54%
5位	神奈川県	0.46%
6位	福岡県	0.42%
7位	群馬県	0.31%
8位	茨城県	0.26%
9位	愛知県	0.24%
10位	山梨県	0.20%

は人口500万人超の都道府県（大都市圏）

出典：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省）

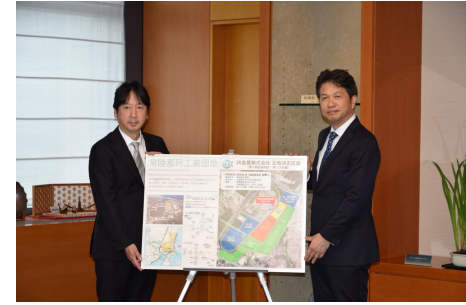


# 新しい豊かさへのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。

## ★成長分野等の企業誘致を推進

- ・ 県外企業立地件数が **8年連続全国第1位**
- ・ 8年間の累計で、県外企業立地件数は**303件**、工場立地面積は**978ha**といずれも**全国第1位**。設備投資額は累計で**1兆円**を突破
- ・ **全国トップレベルの補助制度の創設・拡大、県施行の工業団地開発**を実行



▲ J X 金属(株)の常陸那珂工業団地への立地が決定

## ★「儲かる農業」に向けた取り組みを推進

- ・ 2024年度の輸出額は、青果物、コメ、畜産物を合わせ、2023年度比で約81%増の**約31億8千万円**と**過去最高額**を更新し、8年間で**約24倍**に増加
- ・ 梨「**恵水**」について、1万果に1果といわれる希少な「**幻の恵水**」は、都内高級果実店等で、1玉**10,800円**で販売
- ・ 「**全国ほしいもグランプリ2025**」では、**本県産が上位を独占**



◀ 幻の恵水



◀ 全国ほしいもグランプリ2025

## 政策の進捗状況

- 1 質の高い雇用の創出
- 2 新産業育成と中小企業等の成長
- 3 強い農林水産業
- 4 デジタル茨城～新観光創生～
- 5 自然環境の保全・再生

区分	2022	2023	2024
順調である	4	5	4
成果をあげつつある	1	—	1
取組の強化が求められる	—	—	—



# 新しい安心安全へのチャレンジ

医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。

## ★地域における医療提供体制の確保

- ・「最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科」において目標とした**20名の必要医師を全て確保**
- ・大病院において救急車要請時の緊急性が認められない救急搬送者から、「**選定療養費**」の徴収を開始し、軽症等患者の**救急搬送件数減少**など一定の**効果を確認**
- ・将来にわたる医療提供体制構築のため、**水戸保健医療圏の再編方針**を発表  
再編の第1歩として、「**県立中央病院**」と「**県立こども病院**」の統合に着手

## ★水道事業の広域連携の推進

- ・持続可能な供給体制の確保に向け、栃木県野木町を含む21の市町村とともに、**県企業局を統合先とする「経営の一体化に関する基本協定」**を締結



◀地域枠設置に関する協定締結式 (2024.2)

## ★先手先手の防災対策

- ・全ての県管理河川において「**洪水浸水想定区域図**」を作成
- ・「**田んぼダム**」の整備促進や、**木造住宅の耐震化**に係る支援など  
⇒ソフト・ハードの両面で防災・減災対策を加速



◀経営の一体化に関する協定締結式 (2025.2)

## 政策の進捗状況

6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉

7 健康長寿日本一

8 障害のある人も暮らしやすい社会

9 安心して暮らせる社会

10 災害・危機に強い県づくり

区分	2022	2023	2024
順調である	—	2	1
成果をあげつつある	4	3	4
取組の強化が求められる	1	—	—



# 新しい人財育成へのチャレンジ

茨城の未来を創る「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

## ★特色ある学校づくり、トップレベルの英語・プログラミング教育

- ・ AIなど科学技術の進展やIT人材不足に対応するため、「つくばサイエンス高校」と全国初のIT専科高校となる「IT未来高校」を2023年4月に開校
- ・ 意欲ある生徒に対し高いレベルの英語やプログラミングの学習機会を提供



◀プログラミング・エキスパート育成事業対面講習会 (2025.8)

## ★性的マイノリティへの支援

- ・ 「パートナーシップ宣誓制度」(都道府県単位で全国初)の自治体間連携を推進し、21都府県238市町村と連携 (2025年7月現在)



◀インド・アミティ大学と覚書を締結 (2024.7)

## ★外国人材の活躍促進

- ・ 茨城県外国人材支援センターの設置や、インド現地大学との協力覚書締結、外国人受入優良企業認定制度の創設等により、外国人材の確保から受入れ、定着までを支援
- ・ 生活の困りごと相談などに母語で対応する「IBARAKIネイティブコミュニケーションサポーター」の増員、医療機関等向けの多言語遠隔医療通訳サービスの提供など、安心して生活できる環境の整備を推進

## 政策の進捗状況

	区分	2022	2023	2024
11 次世代を担う「人財」				
12 魅力ある教育環境	順調である	3	2	3
13 日本一、子どもを産み育てやすい県	成果をあげつつある	2	3	2
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城				
15 自分らしく輝ける社会	取組の強化が求められる	—	—	—



# 新しい夢・希望へのチャレンジ

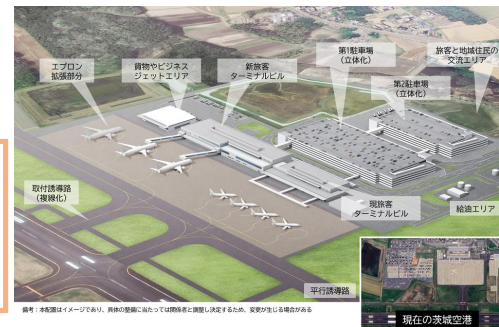
将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力向上を図ります。

## ★県有施設の磨き上げ

- 茨城県植物園を日本初の泊まれる体験型植物園として2025年11月リニューアルオープン予定  
愛称：THE BOTANICAL RESORT「林音（RINNE）」（ザボタニカルリゾートリンネ）

## ★茨城空港の利活用促進

- 2024年度の旅客数は約78万人と過去最多
- 首都圏第3の空港を目指し、茨城空港将来ビジョンを策定



▲将来の茨城空港イメージ



▲IBARAKI sense

## ★観光消費額の拡大

- 稼げる観光地域づくりに取り組み、  
2024年の観光消費額は4,447億円と過去最高額を更新

## ★茨城の魅力発信

- 本県情報のメディア掲載による広告換算額が8年間で4倍に増加

## 政策の進捗状況

- 16 魅力発信No.1プロジェクト
- 17 世界に飛躍する茨城へ
- 18 若者を惹きつけるまちづくり
- 19 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 20 活力を生むインフラと住み続けたいまち

区分	2022	2023	2024
順調である	3	2	2
成果をあげつつある	2	3	3
取組の強化が求められる	—	—	—

# 挑戦する県庁への変革

未来に希望の持てる新しい茨城づくりに向けて「挑戦する県庁」への変革に取り組んでいきます。

## I 挑戦できる体制づくり

項目	主な推進方策	成果
「人財」育成	女性職員の活躍推進	・課長級以上の女性職員の割合：11.6%（2022.4）→ 21.5%（2025.4）
「人財」確保	障害者の雇用推進	・障害者雇用率：3.11%（2021.6）→ 3.63%（2024.6）※全国第1位
デジタル技術を活用した業務改革	A I・R P A等のデジタル技術の積極的な活用	・RPA：60業務（～2021）→ 118業務（～2024） ・生成AIサービスの庁内展開開始（2024～）
多様で柔軟な働き方の推進	時差出勤・テレワークなど柔軟な働き方の推進	・時差出勤：13パターン（2020.3～）→ 18パターン（2024.4～）※全国トップクラス ・テレワーク：リモートによる在宅勤務等（2018.4～） ・フレックスタイム制（2024.4～）※国・他県に先駆け導入
	男性職員の育児参画促進	・男性職員の育児休業等取得率：59.4%（2021）→ 111.5%（2024） ※全国トップクラス

## II 未来志向の財政運営

項目	主な推進方策	成果
好循環を生み出す施策への重点配分	予算編成における特別枠の設定	・新しい茨城づくり特別枠：8,587百万円（2022）→ 10,146百万円（2025）
幅広い手法による財源の確保	県有財産の有効活用、広告収入等の確保	・ネーミングライツ料（県収入分・年額）：4,916万円（2022.4）→ 1億3,940万円（2025.10） ・上記導入施設数：18施設（2022.4）→ 31施設（2025.10）
	ふるさと納税の広報・募集活動の推進	・寄附件数：2,250件（2021）→ 7,133件（2024） ・寄附金額：55,148千円（2021）→ 290,484千円（2024）

### ◆ 数値目標の達成状況

評価の考え方 ○ 目標達成（目標値+0.5%の範囲内） △ 概ね目標達成（目標値+1.0%の範囲内） × 目標未達成

定員管理	目標	2021	2025	増減	評価	主要財政指標	目標	2023	2024	評価
一般行政部門	現状(2021)程度の職員数を維持	4,812人	4,817人	+0.10%	○	実質公債費比率	全国中位以下を維持	9.3% (35位)	9.6% (33位)	○
学校以外の教育部門		468人	474人	+1.28%	×	特例的な県債を除く県債現在高	前年度以下に縮減	11,426億円	11,451億円 (+25億円)	×
警察官以外の警察部門		538人	528人	▲1.86%	○	プライマリーバランス	黒字を維持	1,111億円	942億円	○
公営企業等会計・大学部門		583人	588人	+0.86%	△					

# 新しい総合計画策定のポイントについて

## ◆ 人口減少時代を勝ち抜く、「挑戦する茨城県政」を強力に推進 ～ これからの4年間の成長戦略 ～

### 基本的な考え方

- ・ 新しい総合計画の策定にあたっては、**4つのチャレンジを継続し、新たな挑戦を盛り込み、「活力があり、県民が日本一幸せな県」**の実現に引き続き取り組んでいく。

### 4つのチャレンジにおける重点的な施策



- ・ グローバル企業のフラッグシップ拠点の誘致 ・ クリエイティブ・コンテンツ産業の振興
- ・ 更なる輸出の促進



- ・ 県立中央病院と県立こども病院の統合を含む水戸保健医療圏の病院再編
- ・ 野菜摂取促進による高血圧予防



- ・ 多様性を認め合い、一人ひとりが尊重される社会の実現 ・ 優秀な外国人の受入促進と生活環境整備
- ・ 英語で英語以外の教科を学ぶ「イマージョン教育」の導入



- ・ インバウンド誘客の促進
- ・ つくばエクスプレスの土浦及び東京延伸の推進、茨城空港の機能強化と利便性の向上

# 新しい総合計画策定のポイントについて

## 特に重視する取組

### (1) 茨城県に他の地域にない特長をつくるための「差別化」

- ・ 日立市における日立製作所との共創プロジェクトによる「未来の街づくり」の推進
- ・ 県植物園を全国でも例のない「特別な体験」ができる場所として再生など、本県独自のやり方に挑戦し、「差別化」を推進。



### (2) 茨城県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」

- ・ TX土浦延伸により県北地域も含めた常磐線沿線地域へ「活力」を波及
- ・ 茨城空港の機能強化による「首都圏第3の空港化」
- ・ 水戸保健医療圏の「拠点病院の再編」に向けた、県立中央病院と県立こども病院の建替移転



### (3) 「多様な人財」が活躍できる社会の実現

- ・ 多様な人財がそれぞれの「能力」を生かし、活躍できる社会づくり
- ・ 外国人財への日本語教育をはじめとした地域における共生社会づくり



## 政策の効果検証・改善の徹底

- ・ 重点的に取り組むべき施策について、より明確な進捗評価を実施し、PDCAサイクルを確実に回せるよう、「主要指標」をより骨太な指標へと見直す。